

Windowsサーバー向けウイルス・スパイウェア対策プログラム（ESET Server Security for Microsoft Windows Server）

■ ウイルス・スパイウェア対策

リアルタイム保護（常駐検査） <ul style="list-style-type: none">● ファイル検査● メモリー検査● 電子メールクライアント保護● Webアクセス保護● ドキュメント保護	<ul style="list-style-type: none">● ファイル検査 ：ファイルを作成時や実行時に検査し、悪意のあるファイルを検出します。● メモリー検査 ：メモリー内で展開されたデータを検査し、悪意のあるデータを検出します。● 電子メールクライアント保護 ：メールを受信時に検査し、悪意のあるメールや添付ファイルを検出します。● Webアクセス保護 ：HTTP/HTTPS、POP3/POP3Sプロトコルに対応しており、Webアクセス時にダウンロードされるコンテンツやファイルを検査します。 また、あらかじめWebサイトのURLを登録しておくことで、アクセスを遮断することができます。● ドキュメント保護：Microsoft Office 形式ファイルに含まれる不正プログラムの有無を検査します。
新種・亜種のマルウェアの検出（ヒューリスティック技術）	ヒューリスティック技術は、遺伝子技術を応用したマルウェア検出方法です。従来の検出エンジンを使用したパターンマッチングなどでは検出できない新種や亜種のマルウェアも、ヒューリスティック技術により検出することができます。
機械学習保護	リアルタイムファイルシステム保護とマルウェア検査（オンデマンドスキャン）に機械学習保護機能を搭載しました。検出感度は最大、標準、最小の3段階に設定できます。
検査の除外機能	除外を検出除外とパフォーマンス除外で設定ができます。パフォーマンス除外はパス、検出除外はそれに加えて検出名やハッシュ値を設定できます。
駆除レベル設定	駆除レベルを4段階から設定できます。
HIPS機能	任意のシステムレジストリ / プロセス / アプリケーション / ファイルに対して変更可否などのルールを定義し、不要な動作を制限することでコンピューターを保護できます。
外部デバイスの検査	USBメモリーの接続時やCD/DVDの挿入時に自動的に中身を検査でき、外部デバイスから自動実行される不正プログラムなどを検出します。
エクスプロイトブロック	アプリケーションのぜい弱性を悪用する動作を監視し、疑わしいふるまいを検出したら、ただちに動作をブロックします。
アドバンスドメモリースキャナー	高度に難読化、暗号化されたマルウェアによる不審なプロセスのふるまいを監視し、メモリー内でマルウェアを解析します。
UEFIスキャナー	コンピューター起動時に実行されるUEFI（デバイスファームウェア）を検査し、UEFIに感染するマルウェアを検出します。
ランサムウェア保護	ランサムウェアと疑わしい不審な動作を検出して、攻撃をブロックします。
ESET LiveGrid（クラウドによるレピュテーション）	クラウドを利用してより速くより正確にマルウェアを検出します。また、使用しているプログラムの安全性を評価します。
サーバー保護機能（検査の自動除外機能）	インストールした環境（OSやインストールされているアプリケーション）を自動的に認識し、その環境に最適な除外設定（検査の除外設定）を追加します。
検査方法 <ul style="list-style-type: none">● 手動検査● スケジュール検査● アイドル状態検査	リアルタイム保護（常駐検査）のほか、ユーザーの指定した時間や、特定のタイミングで検査を実施することができます。 <ul style="list-style-type: none">● 手動検査 ：検査をしたいタイミングでユーザーが手動で開始します。検査対象を指定することもできます。● スケジュール検査 ：ユーザーが指定した日時・曜日などのスケジュールに従って、自動で検査を開始します。● アイドル状態検査 ：コンピューターのアイドル状態（スクリーンセーバー起動時、コンピューターのロック、ユーザーのログオフ）の間を利用して、コンピューター全体の検査をサイレントに実行します。

■ フィッシング対策

フィッシング対策	フィッシングサイト（パスワードやその他の機密情報を取得することを目的とした、正規のサイトを偽装した悪意のあるWebサイト）へ誘導する有害なメールを検出し、フィッシングサイトへのアクセスを防止します。
----------	---

■ デバイスコントロール

デバイスコントロール	USBメモリーやCD/DVDなどの光学式メディアからのマルウェア感染防止として、各種外部デバイスへのアクセスを制御します。
タイムスロット	デバイスコントロールのルールの適用時間を設定できます。

■ ネットワーク保護

ポットネット保護	コンピューターで実行中のソフトウェアによって送信されるネットワークトラフィックの内容を解析し、有害だとみなしたすべてのネットワークトラフィックをブロックします。
IDS機能	ネットワークトラフィックの内容を分析して、有害とみなしたすべてのネットワークトラフィックをブロックし、ネットワーク攻撃から保護します。感染力の強い特定の性質を持つコードレッドワーム、SQLスラマーワーム、RPC/DCOM攻撃、サッサワームなどのワームからの攻撃や、ポートスキャンやキャッシュポイズニングなども遮断できます。
バルナラビリティ シールド	IDS機能を強化した、各種攻撃と脆弱性を検出する高度なフィルタリングオプションです。

■ その他の機能

Windows更新プログラム適用通知	Windows Update から提供される更新プログラムが未適用な場合に通知を行います。
プレゼンテーションモード	プレゼンテーション中のポップアップ通知、スケジュールタスクなどを一時的に停止することができます。
ロールバック機能	クライアントPCに適用した検出エンジンやプログラムコンポーネントに不具合が見つかった場合、適用前のバージョンにロールバックします。また、クライアントの検出エンジンのアップデートを一定期間無効にすることもできます。
ESET SysRescue Live	Webサイトよりディスクイメージをダウンロードして、レスキューメディアを作成することができます。レスキューメディアを利用することで、OSを起動することなく検査を実施でき、OS起動時には削除することができないマルウェアも取り除くことができます。
クラスタ機能	Windowsフェールオーバークラスタ環境で複数の ESET File Security for Microsoft Windows Server が構成や通知などのデータを互いに交換し、同じ状態になるよう同期します。
コマンドラインインターフェース	グラフィカルユーザーインターフェース（GUI）の代用として、GUIに備わっているすべての機能とオプションを使用でき、プログラム全体の設定と管理を行うことができます。
自動アップデート	最新バージョンのプログラムに、自動でバージョンアップすることができます。 そのため、従来のバージョンアップのように、インストーラーのダウンロード、インストーラーの実行といった手順をお客さまで実施する必要がありません。

Linuxサーバー向けウイルス・スパイウェア対策プログラム（ESET Server Security for Linux）

■ ウイルス・スパイウェア対策

リアルタイム保護（常駐検査） ● ファイル検査	● ファイル検査 ：ファイルを作成時や実行時に検査し、悪意のあるファイルを検出します。
新種・亜種のマルウェアの検出（ヒューリスティック技術）	ヒューリスティック技術は、遺伝子技術を応用したマルウェア検出方法です。従来の検出エンジンを使用したパターンマッチングなどでは検出できない新種や亜種のマルウェアも、ヒューリスティック技術により検出することができます。
ESET LiveGrid（クラウドによるレピュテーション）	クラウドを利用してより速くより正確にマルウェアを検出します。また、使用しているプログラムの安全性を評価します。
検査の除外機能	除外を検出除外とパフォーマンス除外で設定ができます。パフォーマンス除外はパス、検出除外はそれに加えて検出名やハッシュ値を設定可能です。
駆除レベル設定	駆除レベルを4段階から設定できます。

■ その他の機能

Webインターフェース（日本語対応）	様々な設定と管理をWebブラウザで行うことができます。
コマンドラインインターフェース	グラフィカルユーザーインターフェース（GUI）の代用として、GUIに備わっているすべての機能とオプションを使用でき、プログラム全体の設定と管理を行うことができます。
ロールバック機能	クライアントPCに適用した検出エンジンやプログラムコンポーネントに不具合が見つかった場合、適用前のバージョンにロールバックします。また、クライアントの検出エンジンのアップデートを一定期間無効にすることもできます。
SELinux対応	SELinux有効でも利用です。
ICAPを使用した検査	Internet Content Adaptation Protocol (ICAP)を使用したリモート検査ができます。